

鋁工業指數參考図表集
(2020年6月速報)

2020年7月31日

經濟解析室

URL : <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

2020年6月の鉱工業指数(速報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

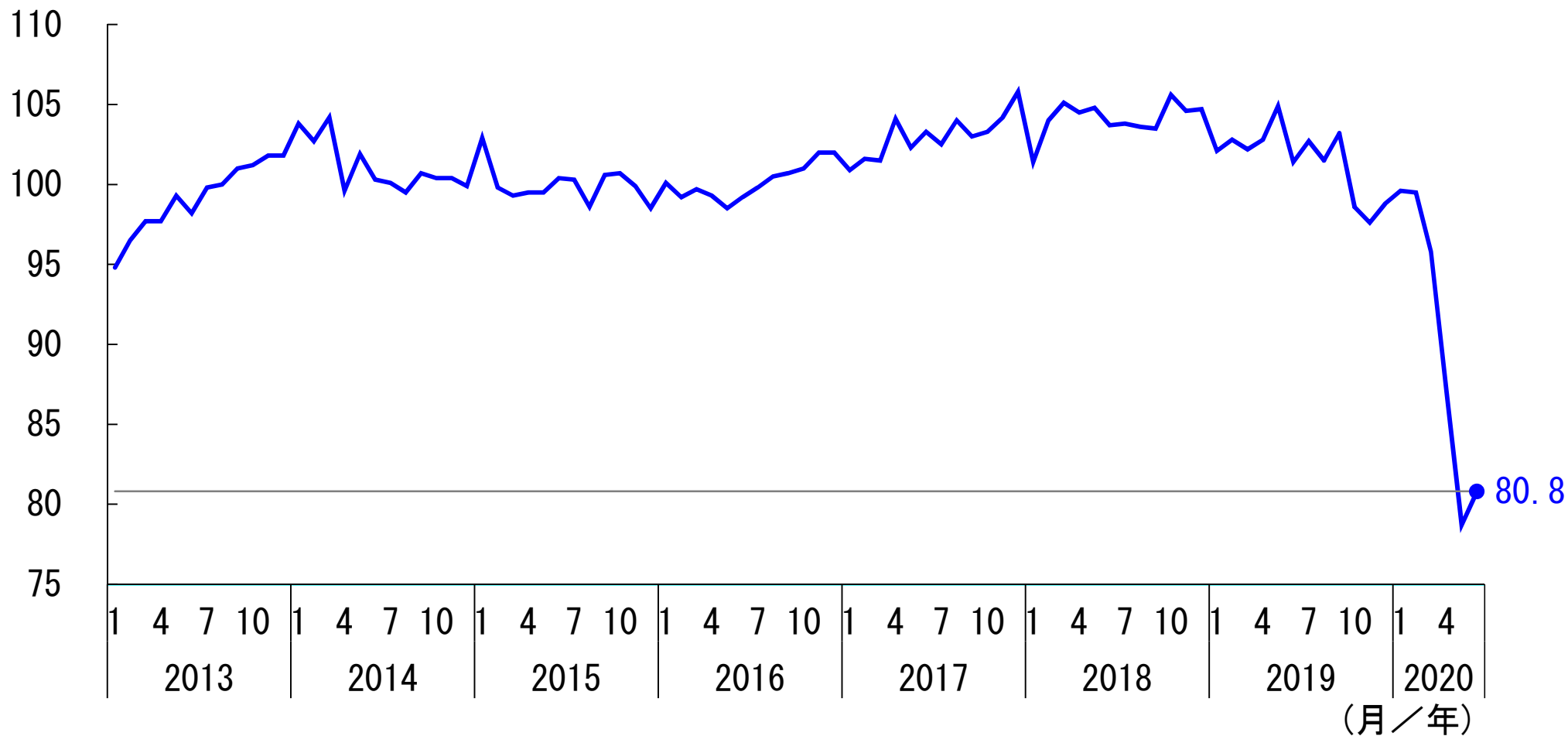
月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	80.8	80.8	100.8	138.2
前月比	2.7%	5.2%	-2.4%	-7.0%
指数水準	2020.4 86.4以来 I 2017.12 105.8 II 2018.10 105.6 III 2018.3 105.1	2020.4 84.3以来 I 2014.3 105.7 II 2017.12 105.4 III 2014.1, 2018.4, 10 104.4	2018.1 100.8以来 (超) 2017.9 99.1以来 ①2014.3 95.3 ②2013.11 95.6 ③2013.8 96.2	2020.3 121.9以来 ①2014.3 89.1 ②2013.11 90.8 ③2014.1 91.8
前月比の動き	5か月ぶり+ (2020.1以来)	4か月ぶり+ (2020.2以来)	3か月連続- (2020.4~当月)	4か月ぶり- (2020.2以来)
前月比幅	2015.1 3.0%以来 I 2015.1 3.0% II 2020.6 2.7% III 2017.4, 2018.2 2.6%	2015年基準最高水準 I 2020.6 5.2% II 2015.1 3.1% III 2017.11 3.0%	2020.5 -2.6%以来 ①2020.5 -2.6% ②2020.6 -2.4% ③2013.11 -2.2%	2015年基準最低水準 ①2020.6 -7.0% ②2014.3 -4.4% ③2017.11 -3.3%
前年同月比(原指数)	-17.7%(83.5)	-16.3%(83.3)	-3.4%(101.4)	22.7%(136.1)
前年同月比の動き	9か月連続- (2019.10~当月)	9か月連続- (2019.10~当月)	2か月連続- (2020.5~当月)	19か月連続+ (2018.12~当月)
前年同月比幅	2020.5 -26.3%以来 ①2020.5 -26.3% ②2020.6 -17.7% ③2020.4 -15.0%	2020.5 -26.8%以来 ①2020.5 -26.8% ②2020.4 -16.6% ③2020.6 -16.3%	2016.11 -3.6%以来 ①2014.3 -4.1% ②2014.1 -3.8% ③2014.2, 2016.11 -3.6%	2020.5 40.7%以来 I 2020.5 40.7% II 2020.4 29.2% III 2020.6 22.7%

1) I～Ⅲは2015年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

鋳工業生産指数の動向

・ 2020年6月の鋳工業生産指数は、80.8(前月比2.7%)と5か月ぶりの上昇。

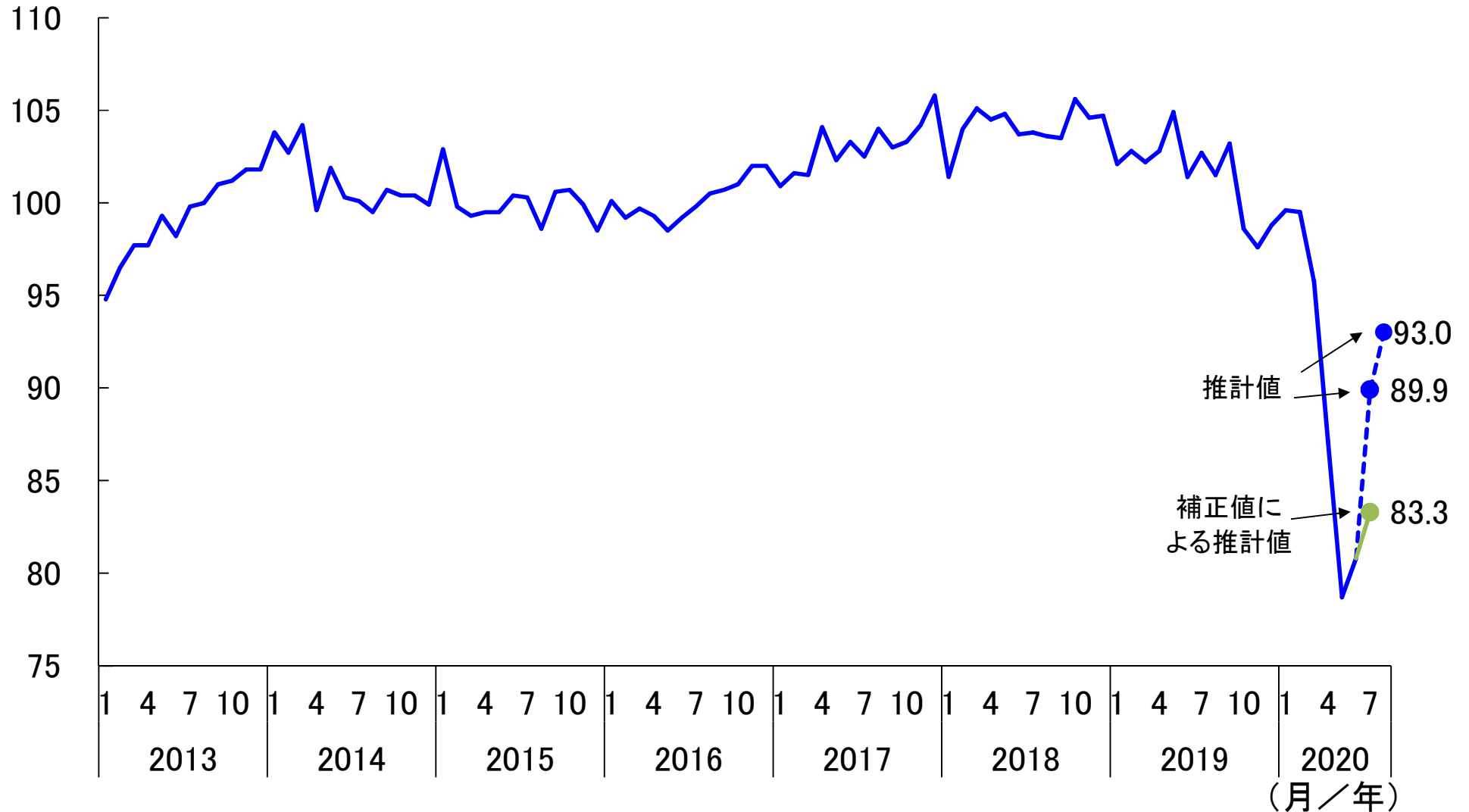
(2015年=100、季節調整済)



(注) 鋳工業指数(IIP)とは、月々の鋳工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は、2015年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鋳工業全体の動きを示す代表的な指標。

製造工業生産予測調査の前月比で鉱工業指数（季節調整値）を延長

(2015年=100、季節調整済)



(注) 補正値は、製造工業生産予測指数がもつ傾向的な部分を修正し、実際の鉱工業指数の動きをより適切に把握できるように試算したものです。

2020年6月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（業種別）

		業種・品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を上昇方向へ引張った3業種の中で上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	自動車工業	28.9%	96.3%
	品目	乗用車	35.7%	53.7%
		車体・自動車部品	27.6%	37.8%
	2位の業種	生産用機械工業	10.2%	29.3%
	品目	半導体・フラットパネルディスプレイ製造装置	17.0%	14.4%
		建設・鉱山機械	14.2%	6.1%
3位の業種	プラスチック製品工業	6.4%	11.4%	
品目	工業用プラスチック製品	21.1%	9.4%	
	プラスチック製日用雑貨・容器類	4.5%	1.6%	
鉱工業生産を低下方向へ引張った3業種の中で低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	無機・有機化学工業	-3.9%	-7.4%
	品目	プラスチック	-5.3%	-3.1%
		環式中間物	-8.2%	-1.9%
	2位の業種	パルプ・紙・紙加工品工業	-5.7%	-5.1%
	品目	紙	-12.3%	-3.5%
		板紙	-8.7%	-1.7%
3位の業種	その他工業	-1.5%	-3.9%	
品目	繊維工業	-4.8%	-3.3%	
	木材・木製品工業	-4.7%	-2.0%	

寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全116業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注) 全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

2020年6月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目(全体・財別)

<全体>

		品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を 上昇 方向 に引っ張った3品目	1位	乗用車	35.7%	53.7%
	2位	車体・自動車部品	27.6%	37.8%
	3位	半導体・フラットパネルディスプレイ製造装置	17.0%	14.4%
鉱工業生産を 低下 方向 に引っ張った3品目	1位	電子デバイス	-17.8%	-8.0%
	2位	ポンプ・圧縮機器	-7.3%	-5.0%
	3位	洗剤・界面活性剤	-6.4%	-3.7%

<財別＝用途別>

	解説	品目名	前月比	寄与率
生産財	原材料として投入される製品	生産財	2.8%	49.5%
		自動車用エンジン	38.4%	13.7%
		駆動伝導・操縦装置部品	26.1%	11.2%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	22.9%	49.4%
		普通乗用車	35.5%	29.4%
		軽乗用車	105.8%	15.5%
資本財 (除. 輸送機械)	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財(除. 輸送用)	4.6%	25.4%
		ショベル系掘削機械	16.7%	6.1%
		フラットパネル・ディスプレイ製造装	114.8%	6.0%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	0.7%	6.0%
		乳液・化粧品類	10.0%	3.8%
		頭髮用化粧品	6.2%	2.0%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	-0.2%	-0.6%
		橋りょう	-24.6%	-2.3%
		板ガラス	-24.5%	-0.5%

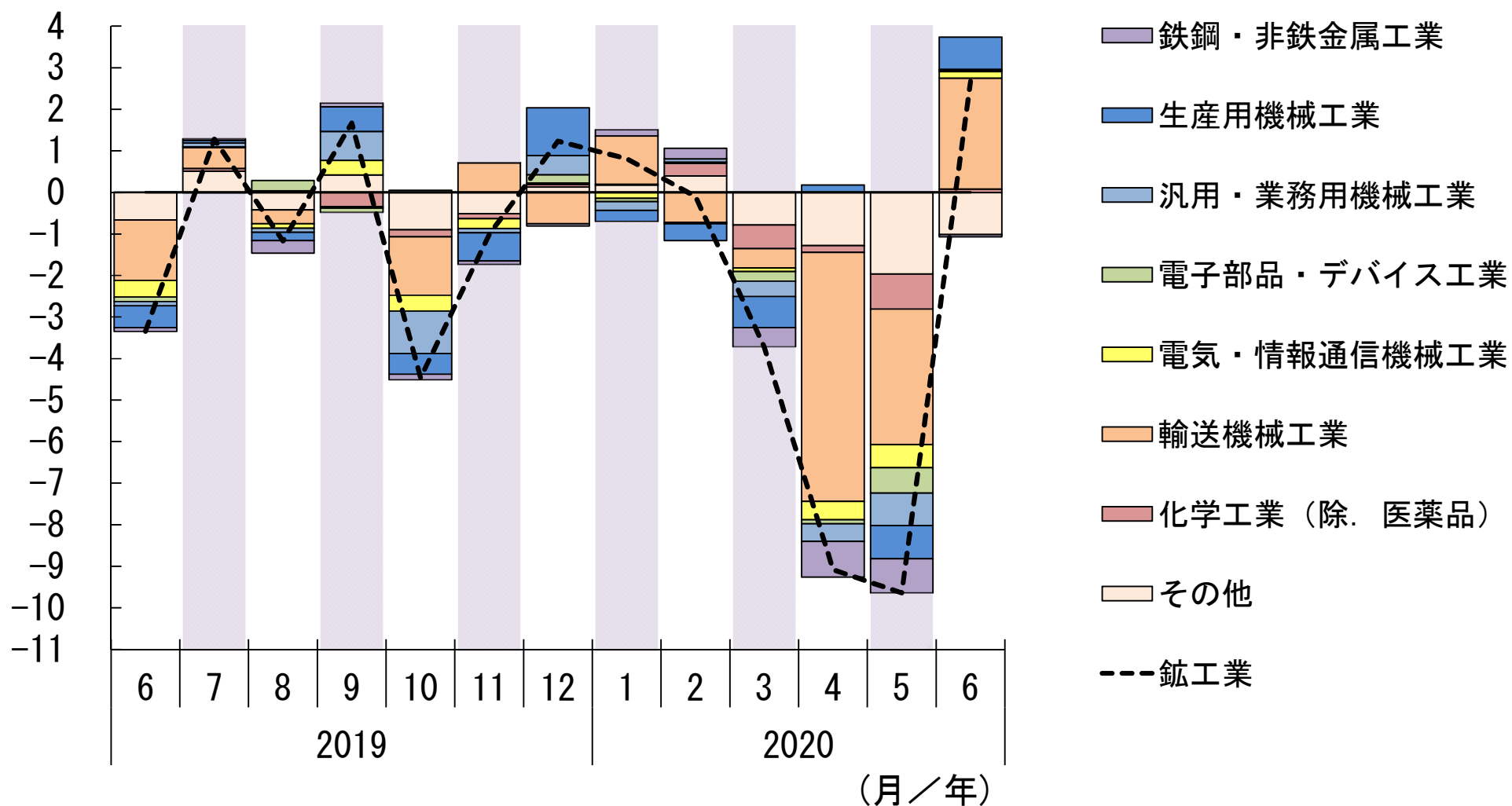
寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全116業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

鉱工業生産前月比 業種別の影響度合い

・2020年6月の生産指数は、鉄鋼・非鉄金属工業が低下したものの、輸送機械工業などが上昇したため、前月比2.7%の上昇。

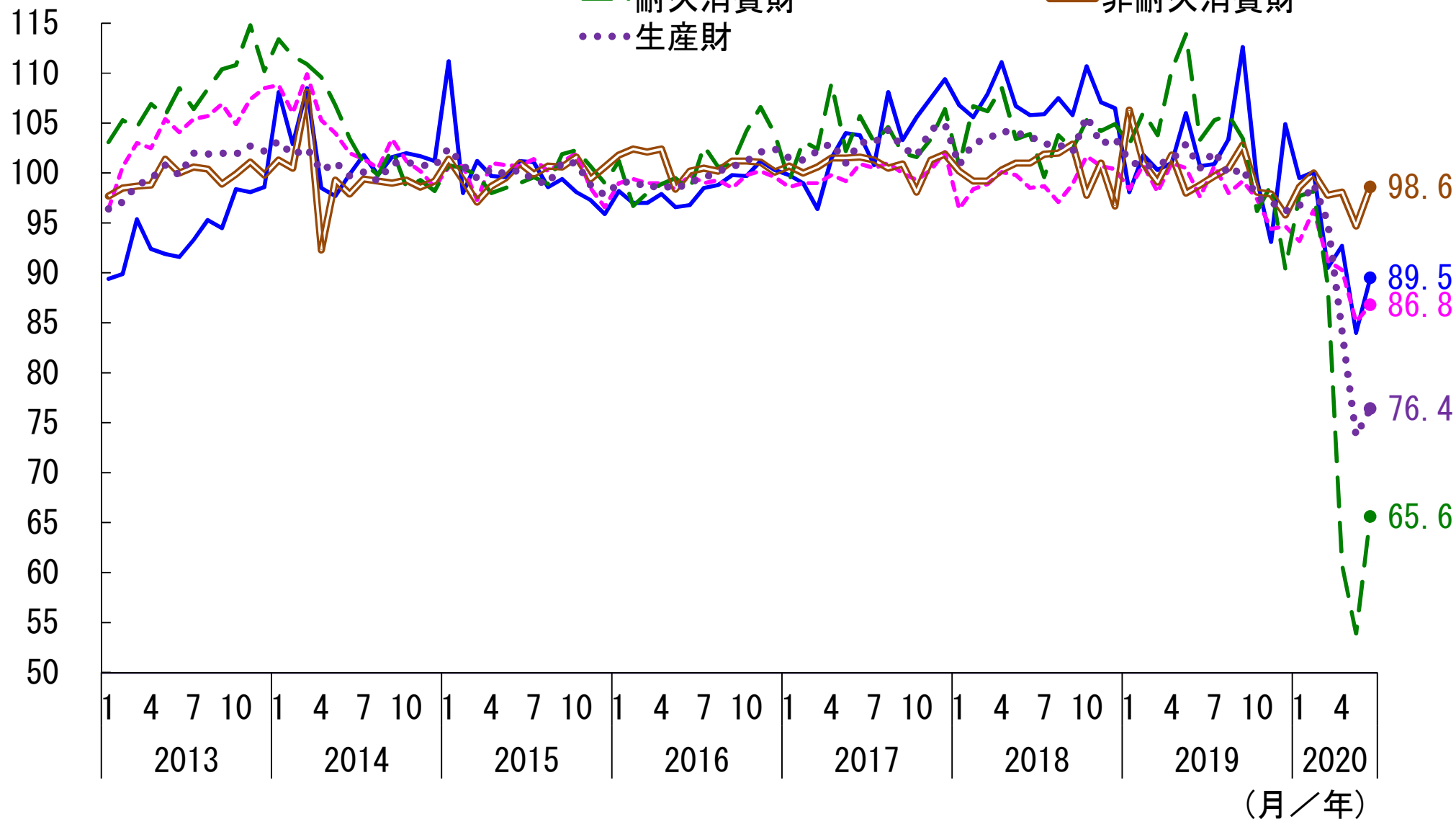
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



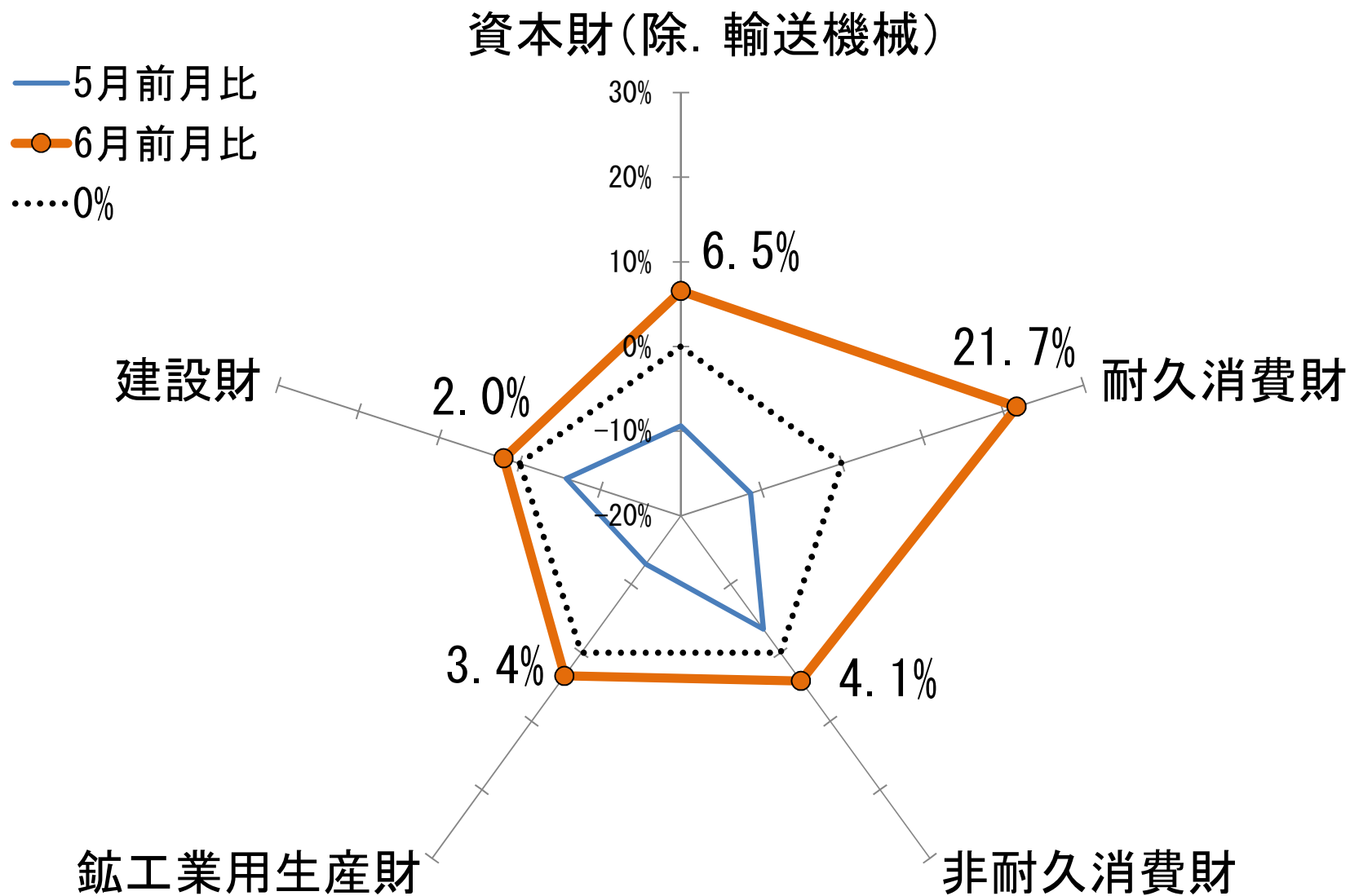
財別出荷指数の動向

(2015年=100、季節調整済)

- 資本財(除. 輸送機械)
- - - 建設財
- · - 耐久消費財
- 非耐久消費財
- 生産財



財別出荷指数の前月比比較（2020年5月、2020年6月）



2020年6月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目（財別）

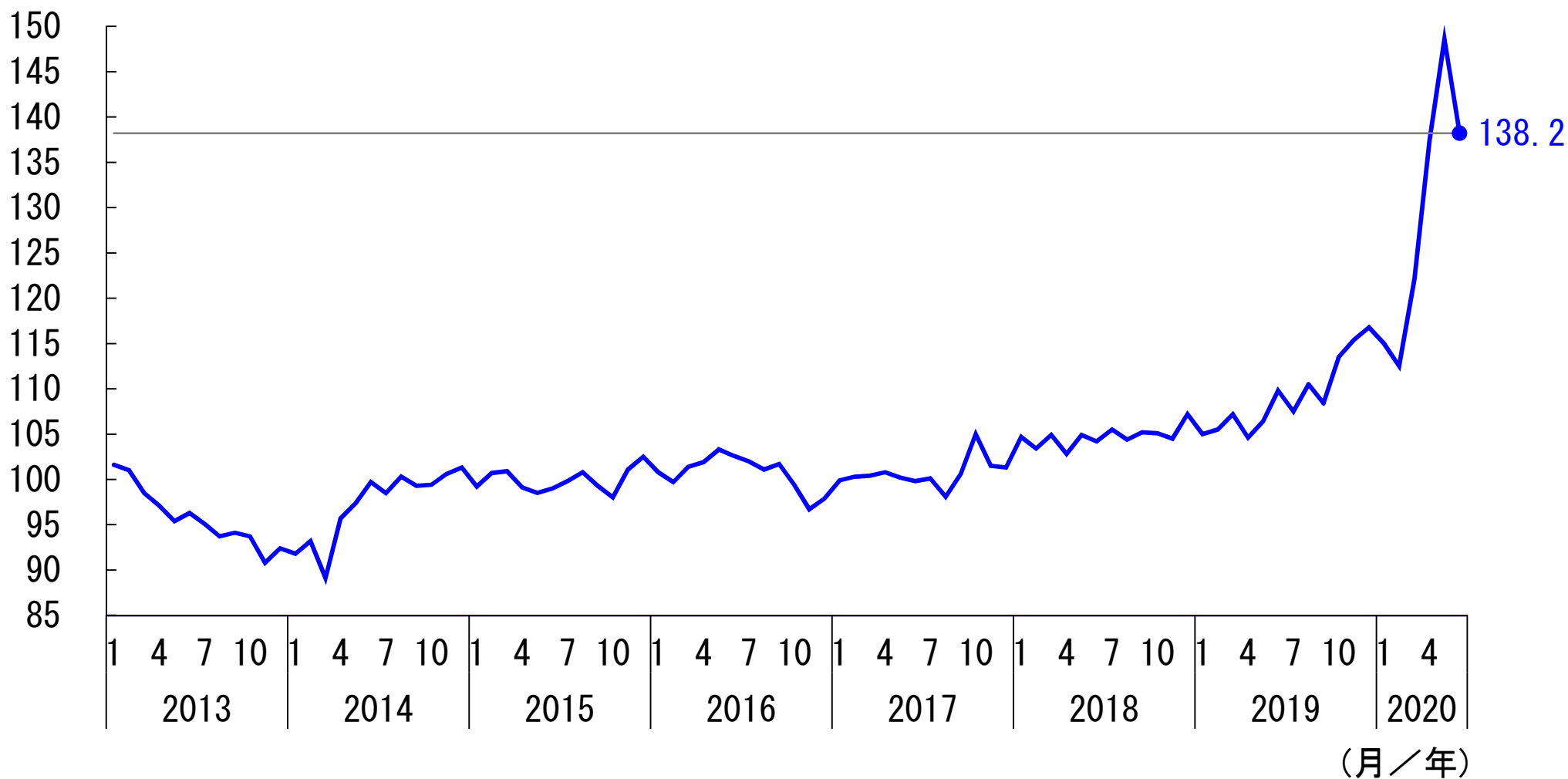
	解説	品目名	前月比	寄与率
生産財	原材料として投入される製品	生産財	3.7%	35.3%
		ガソリン	25.9%	7.1%
		自動車用エンジン	38.7%	6.7%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	21.7%	29.4%
		普通乗用車	24.8%	14.5%
		軽乗用車	99.8%	8.7%
資本財	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財（除. 輸送用）	6.5%	15.9%
		ショベル系掘削機械	16.5%	3.4%
		フラットパネル・ディスプレイ製造装置	115.0%	3.1%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	4.1%	15.7%
		ガソリン	25.9%	4.7%
		頭髮用化粧品	11.5%	1.1%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	2.0%	2.4%
		鉄骨・軽量鉄骨	7.9%	0.5%
		アルミニウム製建具	3.2%	0.4%

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

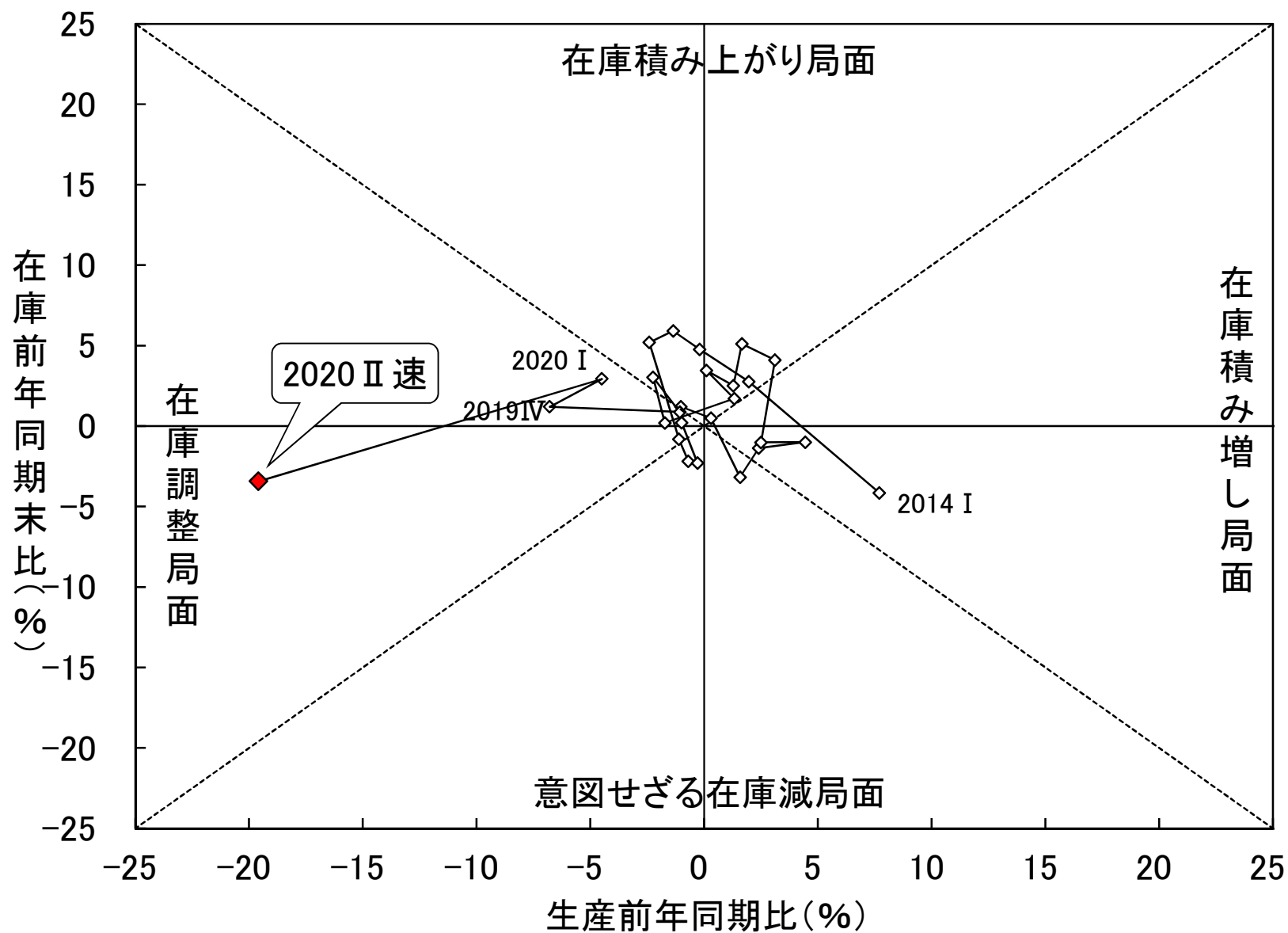
鉍工業在庫率指数の動向

・ 2020年6月の在庫率指数は、138.2(前月比-7.0%)と4か月ぶりの低下。

(2015年=100、季節調整済)



鋳工業の在庫循環図



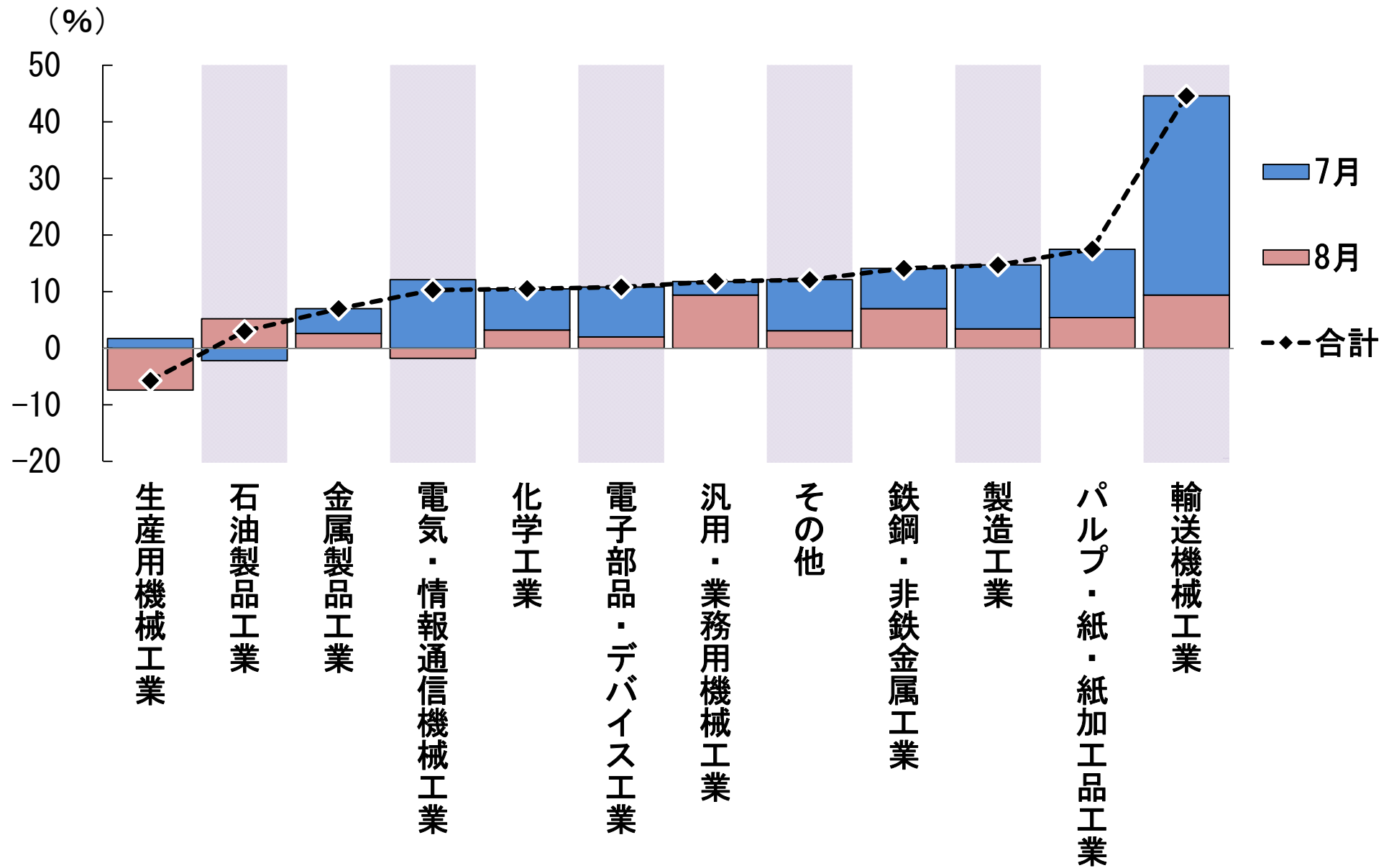
製造工業生産予測指数（季節調整済前月比（％））

	2020年7月見込み	2020年8月見込み
2020年7月調査(今回)	11.3	3.4
2020年6月調査(前回)	9.2	

製造工業生産予測指数の補正值（季節調整済前月比（％））

	補正值	予測調査結果
7月前月比	3.1% (2.1%～4.1%)	11.3

2か月の生産予測伸び率（製造工業生産予測指数）



2020年7月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比
輸送機械工業	35.2%
電気・情報通信機械工業	12.1%
化学工業	7.3%
電子部品・デバイス工業	8.8%
その他	9.0%
鉄鋼・非鉄金属工業	7.1%
パルプ・紙・紙加工品工業	12.1%

上昇寄与業種	計画前月比
汎用・業務用機械工業	2.4%
金属製品工業	4.4%
生産用機械工業	1.7%
低下寄与業種	計画前月比
石油製品工業	-2.2%

(注) 低下寄与業種は、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きくなるように並んでいます。

2020年8月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比
輸送機械工業	9.4%
汎用・業務用機械工業	9.4%
化学工業	3.2%
鉄鋼・非鉄金属工業	7.0%
その他	3.1%
電子部品・デバイス工業	2.0%
パルプ・紙・紙加工品工業	5.4%

上昇寄与業種	計画前月比
金属製品工業	2.6%
石油製品工業	5.2%
低下寄与業種	計画前月比
電気・情報通信機械工業	-1.8%
生産用機械工業	-7.4%

(注) 低下寄与業種は、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きくなるように並んでいます。

2020年6月の鉱工業生産の基調判断

「生産は下げ止まり、持ち直しの動き」

基調判断の推移

- | | |
|--------------------|--------------------------------|
| ・2016年6月、7月 | 「生産は一進一退だが、一部に持ち直し」 |
| ・2016年8月～10月 | 「生産は緩やかな持ち直しの動き」 |
| ・2016年11月～2017年10月 | 「生産は持ち直しの動き」 |
| ・2017年11月、12月 | 「生産は持ち直している」 |
| ・2018年1月～6月 | 「生産は緩やかな持ち直し」 |
| ・2018年7月～9月 | 「生産は緩やかに持ち直しているものの、一部に弱さがみられる」 |
| ・2018年10月～12月 | 「生産は緩やかな持ち直し」 |
| ・2019年1月、2月 | 「生産は足踏みをしている」 |
| ・2019年3月 | 「生産はこのところ弱含み」 |
| ・2019年4月～7月 | 「生産は一進一退」 |
| ・2019年8月、9月 | 「生産はこのところ弱含み」 |
| ・2019年10月～12月 | 「生産は弱含み」 |
| ・2020年1月、2月 | 「生産は一進一退ながら弱含み」 |
| ・2020年3月 | 「生産は低下している」 |
| ・2020年4月、5月 | 「生産は急速に低下している」 |
| ・2020年6月～ | 「生産は下げ止まり、持ち直しの動き」 |

2020年4～6月期(速報)各指数の状況 生産・出荷・在庫・在庫率指数

四半期	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	82.0	80.6	100.8	141.8
前期比	-16.7%	-16.6%	-5.3%	21.7%
指数水準	2015年基準最低水準 ①2020Ⅱ 82.0 ②2013Ⅰ 96.3 ③2019Ⅳ 98.0	2015年基準最低水準 ①2020Ⅱ 80.6 ②2020Ⅰ 96.7 ③2019Ⅳ 97.3	2017Ⅲ 99.1以来 ①2014Ⅰ 95.3 ②2013Ⅳ 96.9 ③2013Ⅱ, 2016Ⅳ 97.0	2015年基準最高水準 Ⅰ2020Ⅱ 141.8 Ⅱ2020Ⅰ 116.5 Ⅲ2019Ⅳ 114.6
前期比の動き	2期ぶり－ (2019Ⅳ以来)	6期連続－ (2019Ⅰ～当期)	3期ぶり－ (2019Ⅲ以来)	8期連続＋ (2018Ⅲ～当期)
前期比幅	2015年基準最低水準 ①2020Ⅱ -16.7% ②2019Ⅳ -3.6% ③2014Ⅱ -2.9%	2015年基準最低水準 ①2020Ⅱ -16.6% ②2014Ⅱ -4.1% ③2019Ⅳ -3.9%	2015年基準最低水準 ①2020Ⅱ -5.3% ②2016Ⅳ -3.0% ③2013Ⅱ -2.5%	2015年基準最高水準 Ⅰ2020Ⅱ 21.7% Ⅱ2014Ⅱ 6.8% Ⅲ2019Ⅳ 4.8%
前年同期比(原指数)	-19.6%(80.5)	-19.8%(78.6)	-3.4%(101.4)	30.9%(144.3)
前年同期比の動き	6期連続－ (2019Ⅰ～当期)	6期連続－ (2019Ⅰ～当期)	11期ぶり－ (2017Ⅲ以来)	11期連続＋ (2017Ⅳ～当期)
前年同期比幅	2015年基準最低水準 ①2020Ⅱ -19.6% ②2019Ⅳ -6.8% ③2020Ⅰ -4.5%	2015年基準最低水準 ①2020Ⅱ -19.8% ②2019Ⅳ -6.5% ③2020Ⅰ -5.2%	2014Ⅰ -4.1%以来 ①2014Ⅰ -4.1% ②2020Ⅱ -3.4% ③2016Ⅳ -3.2%	2015年基準最高水準 Ⅰ2020Ⅱ 30.9% Ⅱ2020Ⅰ 10.3% Ⅲ2019Ⅳ 9.4%

1) Ⅰ～Ⅲは2015年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

鉱工業生産指数前期比 業種別の影響度合い

・ 2020年4-6月期の生産指数は、輸送機械工業等すべての業種が低下したため、前期比-16.7%の低下。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)

